

2016年度 第2四半期決算説明会

2016年11月8日
三菱ガス化学株式会社

2016年度第2四半期 事業概況及びトピックス

<事業概況>

- 円高の影響があったものの、エンジニアリングプラスチックを中心に原燃料安等による採算改善などがあり、営業利益は増益。
- メタノール市況は軟調に推移、海外メタノール生産会社の持分法利益が減少。
- 営業利益の増加に加え、エンジニアリングプラスチック関係会社の持分法利益が増加したこともあり、経常利益は増益。

<トピックス>

- 自動車向けトップコート塗料の原料等として使用される、メタクリル酸グリシジル(GMA)の生産能力増強を決定
- 日本化薬(株)との合併で、バイオ後続品を含む抗体医薬品の製造会社を設立
- 特殊ポリカーボネートの生産能力を増強（モバイル機器のカメラレンズ向け需要好調）
- 自己株式の取得（2016年5月、1,000万株、発行済株式数の2%）
- 単元株式数の変更（1,000株→100株）及び株式併合（2株→1株）を実施。
（効力発生日：2016年10月1日）

連結 2016年度 第2四半期 実績

【単位：億円】

	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増 減		2016年度 2Q累計 (前回予想*)
			金額	%	
売上高	3,002	2,679	▲ 323	▲10.8%	2,600
営業利益	153	192	39	25.7%	120
(持分法利益)	(81)	(75)	(▲ 5)	-	(53)
経常利益	211	246	34	16.5%	150
税金等調整前四半期純利益	234	245	11	4.7%	140
親会社株主に帰属する四半期純利益	185	185	▲ 0	▲0.0%	90

*2016年8月3日公表

一株当たり四半期純利益(円/株)	83.10	85.34 ※1
中間配当金(円/株)	8.0	8.0 ※2
為替レートの(JPY/USD)	122	105

※1 当社は、2016年10月1日付で株式併合（2株→1株）を実施しております。これに伴い、本資料の一株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※2 中間配当金は、株式併合前の株式数に対して支払われるため、株式併合実施前の株式数を基に表示しております。

▶対前年同期比 円高の影響があったものの、エンジニアリングプラスチックを中心に原燃料安による採算改善があったことなどから営業利益、経常利益ともに増益。

▶対前回予想比 機能化学品・芳香族化学品の営業利益増加に加え、メタノールやエンジニアリングプラスチック関連会社に係る持分法利益も増加したことなどから前回予想を上回る。

※本ページ以下に記載の数値は、金額表示は単位未満切り捨て、%表示は単位未満四捨五入で表記しております。

連結 2016年度第2四半期 営業外損益・特別損益

【単位：億円】

	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増 減
営業外損益	57	53	▲ 4
持分法による投資損益	81	75	▲ 5
金融収支	6	6	0
為替差損益	▲ 24	▲ 18	6
その他の	▲ 4	▲ 10	▲ 5
特別利益	38	2	▲ 36
受取補償金	-	2	2
投資有価証券売却益	34	-	▲ 34
補助金収入	3	-	▲ 3
その他の	1	-	▲ 1
特別損失	▲ 15	▲ 2	13
関係会社整理損	▲ 10	▲ 1	8
投資有価証券売却損	-	▲ 1	▲ 1
事業構造改善費用	▲ 3	-	3
リース解約損	▲ 1	-	1
その他の	-	-	-

▶持分法による投資損益

- ・天然ガス系化学品▲19
(メタノール市況下落等)
- ・機能化学品+6
(エンジニアリングプラスチックス
関連会社 採算改善等)
- ・特殊機能材+6
(新たに2社が持分法適用)

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

連結 2016年度第2四半期 貸借対照表

【単位：億円】

科目	2016年 3月末	2016年 9月末	増減	科目	2016年 3月末	2016年 9月末	増減
流動資産	3,412	3,040	▲ 371	負債	3,164	2,574	▲ 590
現預金	840	715	▲ 125	買掛債務	608	583	▲ 24
売掛債権	1,364	1,276	▲ 88	有利子負債	1,814	1,329	▲ 484
棚卸資産	1,001	902	▲ 99	その他	742	660	▲ 81
その他	206	146	▲ 59				
固定資産	3,983	3,776	▲ 207	純資産	4,231	4,242	11
有形固定資産	2,305	2,073	▲ 232	株主資本	3,732	3,905	172
無形固定資産	87	81	▲ 5	その他包括利益累計額	36	▲ 99	▲ 136
投資その他の資産	1,590	1,620	30	非支配株主持分	461	436	▲ 25
資産合計	7,395	6,816	▲ 579	負債・純資産合計	7,395	6,816	▲ 579
				自己資本比率	51.0%	55.8%	

連結 2016年度第2四半期 キャッシュフロー計算書

【単位：億円】

	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増減
営業キャッシュフロー	285	462	176
税金等調整前四半期純利益	234	245	11
減価償却費	131	122	▲8
持分法利益	▲81	▲75	5
持分法適用会社からの配当金受取額	11	73	61
運転資金等	▲51	112	163
法人税等支払額	40	▲17	▲57
投資キャッシュフロー	▲157	▲155	2
設備資金	▲136	▲140	▲4
投融資資金等	▲21	▲14	6
フリーキャッシュフロー（差引）	127	306	179
財務キャッシュフロー	▲240	▲380	▲139
借入金・社債増減等	▲135	▲282	▲147
自己株式取得	▲74	▲62	11
配当金支払額	▲31	▲35	▲3
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	▲52	▲58
現金及び現金同等物の増減額（合計）	▲106	▲126	▲19
現金及び現金同等物の期末残高	620	632	11

連結 2016年度 通期予想

【単位：億円】

	2016年度 前回予想	2016年度 今回予想	増 減		2015年度 実績
			金額	%	
売上高	5,200	5,100	▲ 100	▲ 1.9%	5,935
営業利益	250	300	50	20.0%	340
(持分法利益)	(110)	(110)	(0)	-	(166)
経常利益	320	370	50	15.6%	454
税金等調整前当期純利益	310	360	50	16.1%	458
親会社株主に帰属する当期純利益	210	260	50	23.8%	341

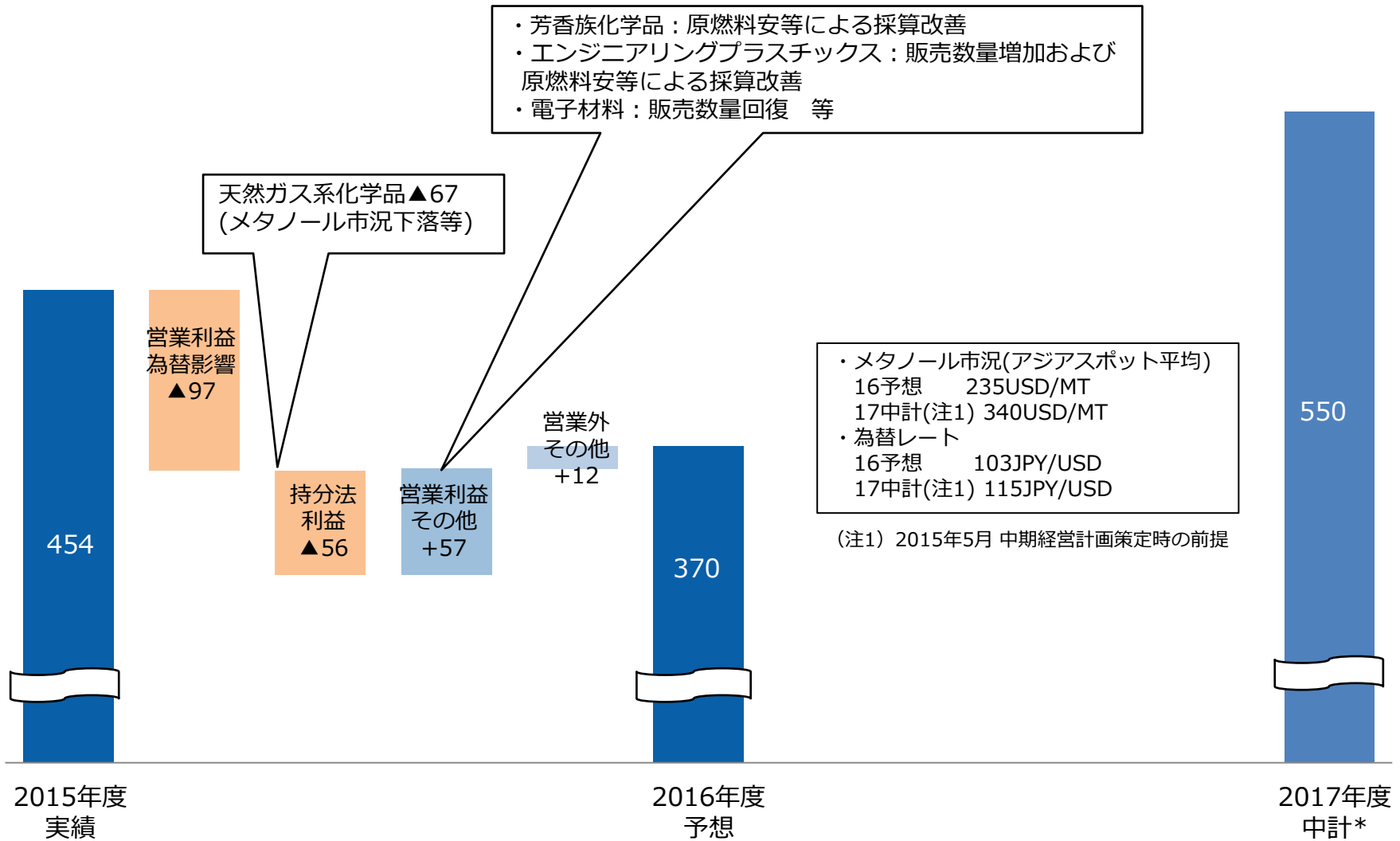
一株当たり当期純利益(円/株)	97.02	120.12	※1
ROE (%)	5.3	6.8	
年間配当金(円/株)	32.0	34.0	※2
為替レート(JPY/USD)	106	103	

▶ 下期業績は、円高等による採算悪化やメタノール生産会社の持分法利益減少により、前回予想を下回る見通しであるが、上期業績の上振れにより、通期業績は前回予想を上回る見通し。

※1 当社は、2016年10月1日付で株式併合（2株→1株）を実施しており、本資料の一株当たり当期純利益は、当該株式併合を反映しております。

※2 本資料の年間配当金は、2016年10月1日の株式併合実施後の株式数を基に表示しております。今回、期末の配当予想を16円から18円へ修正しており、前回予想に比べ、2円の増額となります。

経常利益増減要因



*2015年5月公表 中期経営計画「MGC Advance 2017」より

<参考> 為替感応度 (概算) : 対USドル1円の円高(円安)で、営業利益5億円/年、経常利益6億円/年の減益 (増益)

セグメント別 連結 売上高・営業利益・経常利益推移

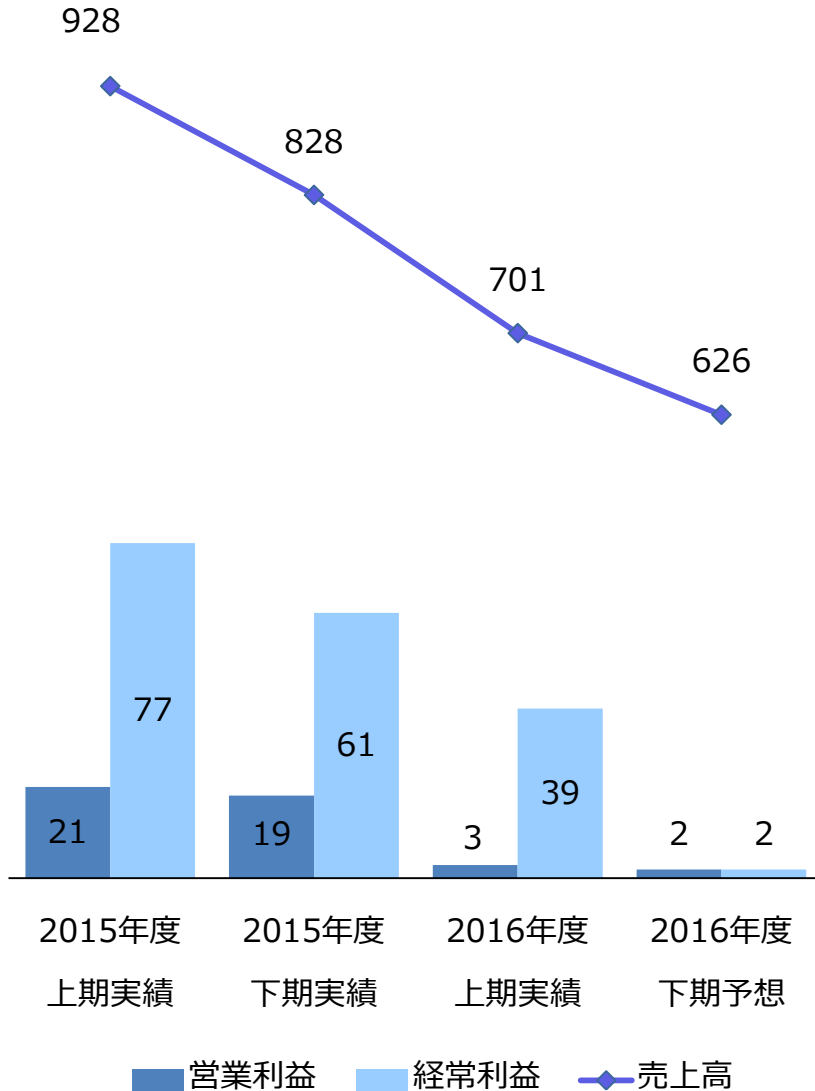
【単位：億円】

	2015年度実績			2016年度（前回予想）			2016年度（今回予想）			17中計
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	通期
売上高	3,002	2,932	5,935	2,600	2,600	5,200	2,679	2,420	5,100	7,000
天然ガス系化学品	928	828	1,756	680	689	1,369	701	626	1,327	2,100
芳香族化学品	1,050	1,008	2,058	951	967	1,918	955	898	1,853	2,400
機能化学品	827	875	1,702	780	755	1,535	835	714	1,550	2,000
特殊機能材	264	288	552	245	246	491	248	235	484	700
全社/調整	▲ 68	▲ 67	▲ 135	▲ 58	▲ 57	▲ 115	▲ 61	▲ 54	▲ 115	▲ 200
営業利益	153	186	340	120	130	250	192	107	300	400
天然ガス系化学品	21	19	41	▲ 4	12	8	3	2	6	60
芳香族化学品	77	74	152	71	72	143	90	57	148	160
機能化学品	56	74	130	54	41	95	96	44	141	120
特殊機能材	11	29	40	17	21	38	20	18	39	60
全社/調整	▲ 14	▲ 10	▲ 24	▲ 19	▲ 16	▲ 35	▲ 19	▲ 16	▲ 35	0
経常利益	211	243	454	150	170	320	246	123	370	550
天然ガス系化学品	77	61	139	16	40	56	39	2	41	210
芳香族化学品	71	65	137	64	65	129	85	50	135	150
機能化学品	58	97	155	65	52	117	114	60	175	130
特殊機能材	8	29	38	22	23	45	27	20	47	60
全社/調整	▲ 4	▲ 12	▲ 16	▲ 18	▲ 10	▲ 28	▲ 19	▲ 9	▲ 29	0

※1 2015年5月公表 中期経営計画「MGC Advance 2017」より

天然ガス系化学品

【単位：億円】



2016年度 上期(実績、前年同期比)

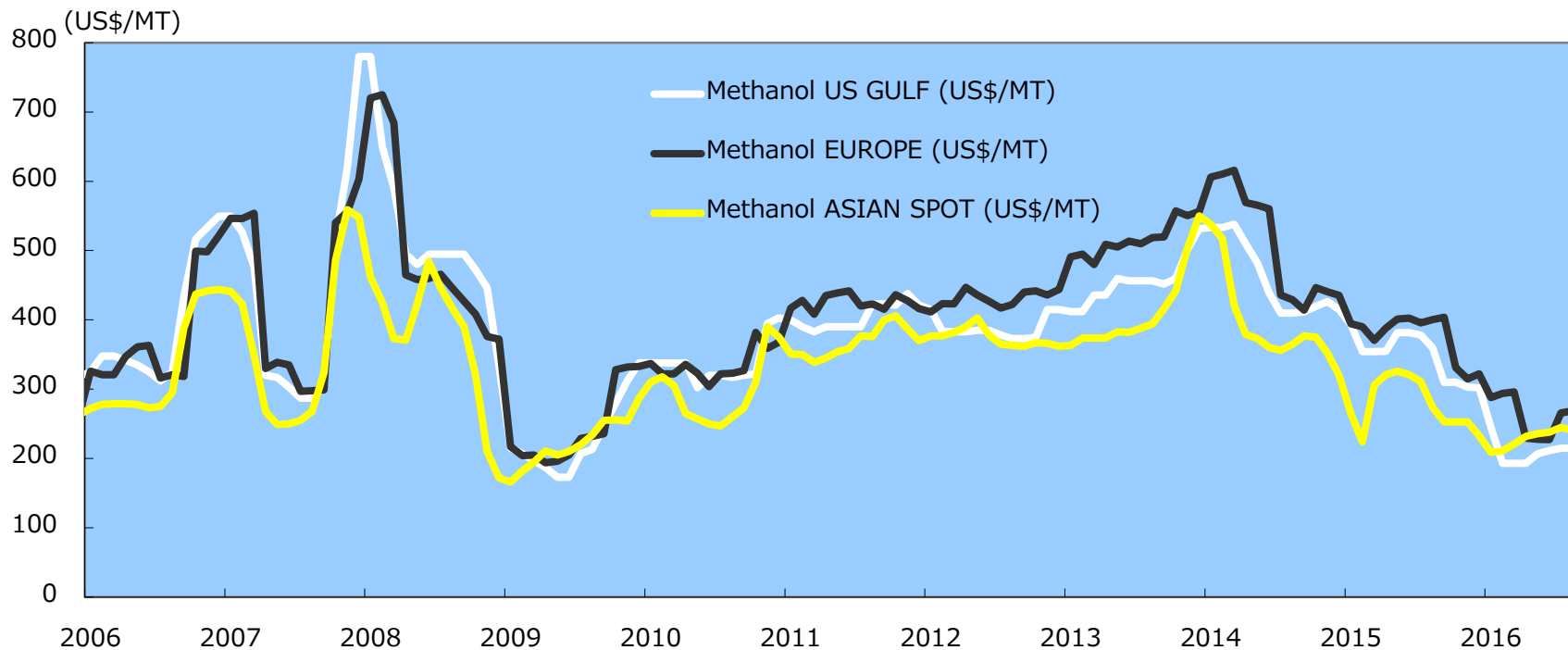
- ▶ 国際市況の下落に伴いメタノールの売上高が減少。
- ▶ 製品市況の下落や円高などにより、営業利益が減少。
- ▶ 海外メタノール生産会社は、メタノール市況の下落により持分法利益が減少し、経常利益は減益。

2016年度 下期(予想、上期実績比)

- ▶ メタノール市況は引き続き低い水準で推移する見通し。ブルネイでの設備トラブルによる生産停止などにより、持分法利益が減少、経常利益は上期を下回る見通し。

天然ガス系化学品 メタノール市況の動向

メタノール価格の推移



2016年度 上期実績

年初の市況から回復は見られたものの、上期のメタノール価格(アジアスポット平均)は230\$/MTと低い水準で推移した。

需要：既存ケミカル用途が低調であったものの、中国MTO(Methanol To Olefin)向けの需要は堅調に推移した。

供給：2015年に北米で新設されたプラントの稼働が堅調であり、中国のメタノール国内生産も安価な石炭を背景に堅調であった。

2016年度 下期想定

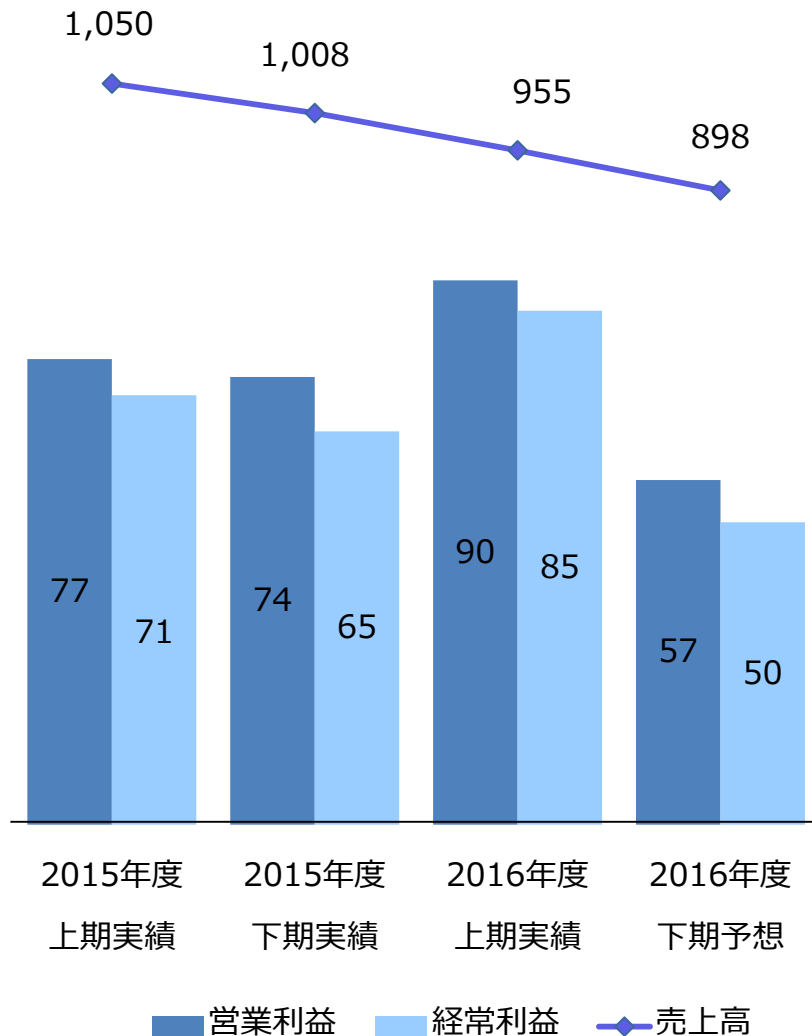
下期のメタノール価格は、需要増による需給バランスの改善を見込み、240\$/MTと緩やかな上昇を見込む。

需要：中国MTOプラントは新規稼働が見込まれ、全体としてメタノール需要は伸長する見通し。

供給：2016年度下期に大規模なプラントの新設は予定されていない。

芳香族化学品

【単位：億円】



2016年度 上期(実績、前年同期比)

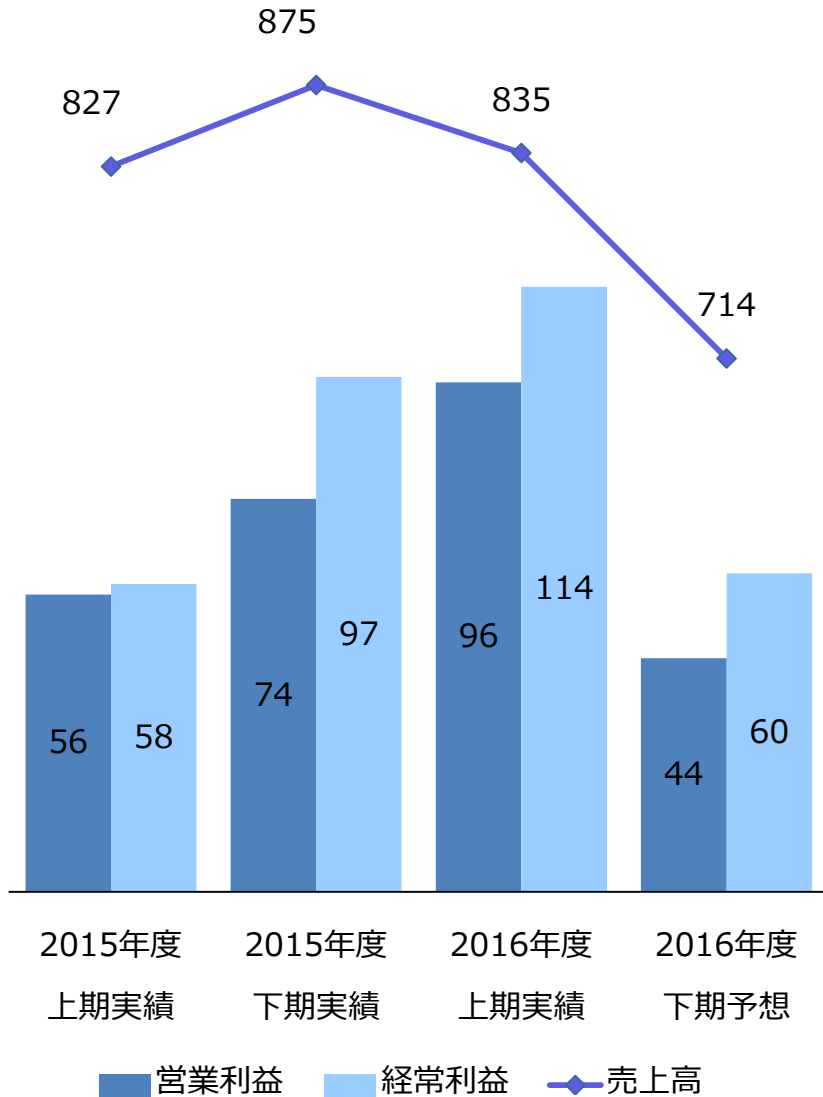
- 高純度テレフタル酸の販売終了に加え、製品市況下落や円高により売上高は減少。
- 原燃料安による採算改善や発泡プラスチック（JSP）で付加価値の高い製品の販売が好調であったことなどから、営業利益が増加。

2016年度 下期(予想、上期実績比)

- 水島工場での定期修繕や円高などにより、単体の利益は減少する見通し。
- JSPは、円高などにより、上期に比べ利益は減少する見通し。

機能化学品

【単位：億円】



2016年度 上期(実績、前年同期比)

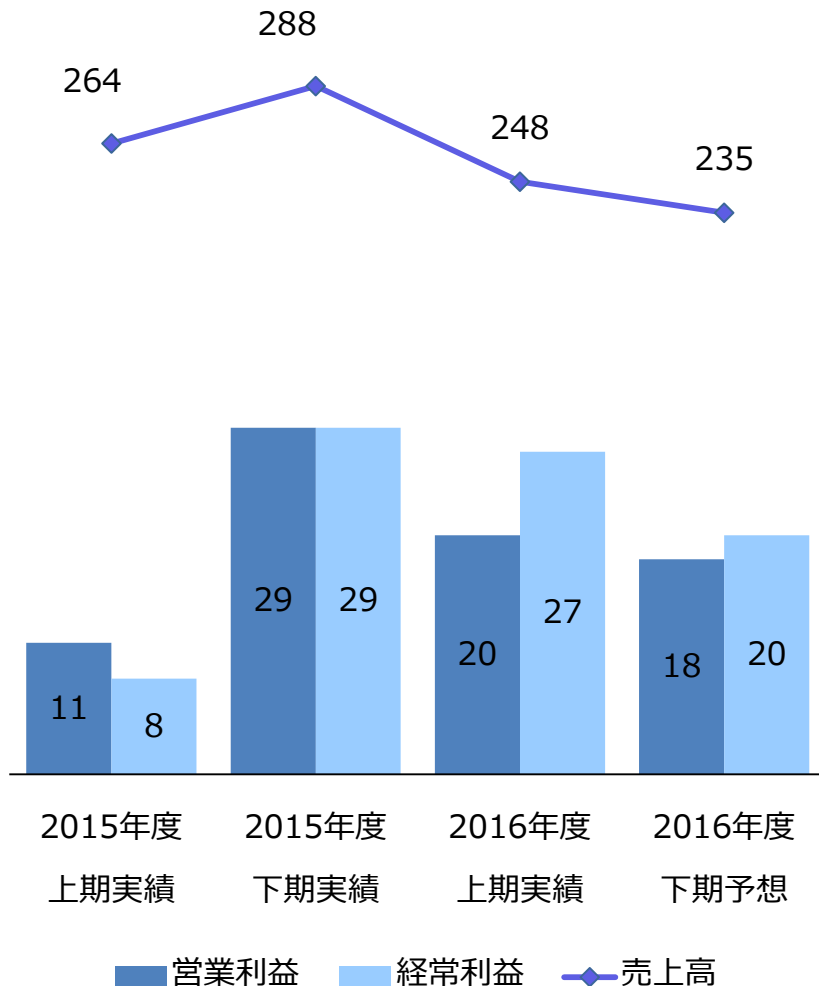
- 無機化学品は、円高や液晶・半導体向け薬液の販売数量が減少したこともあり、減収減益。
- エンジニアリングプラスチックは、原燃料価格の下落による採算改善に加え、販売数量も増加したことなどから、増益。

2016年度 下期(予想、上期実績比)

- 無機化学品は、エレクトロニクスケミカル事業における厳しい競争環境の継続や液晶向け薬液の販売数量減少、円高などにより、減益を見込む。
- PC-BPAスプレッドは、上期に比べ悪化を見込む。PCシートフィルムは厳しい事業環境が継続する見通し。

特殊機能材

【単位：億円】



2016年度 上期(実績、前年同期比)

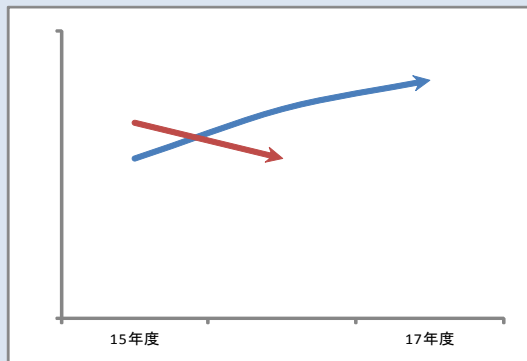
- 電子材料は、主力の半導体パッケージ向けBT材料の販売数量が増加したことなどから、増益。
- 脱酸素剤は、国内食品用途は前年同期並みで推移したものの、円高により若干の減益。
- 日本サーキット工業(株)の解散により、売上高は減少
- 16年度より、新たに2社が持分法適用。

2016年度 下期(予想、上期実績比)

- BT材料の販売数量は概ね上期並みを見込む。
- 脱酸素剤は、例年通り年末の需要期に伴う販売数量増を見込む。

中期経営計画『MGC Advance2017』の進捗

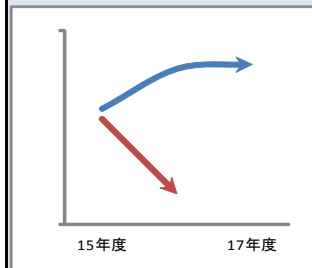
中期経営計画『MGC Advance2017』の進捗状況（経常利益）*



・機能化学品、芳香族化学品は計画を上回り推移しているものの、メタノール市況の低迷に加え、円高が逆風となり、16年度の収益は減少傾向。

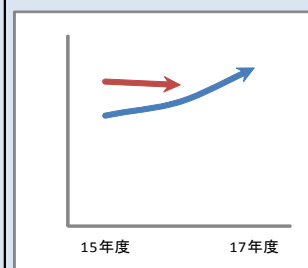
<中期経営計画策定時 市況前提（2017年度）>
為替：115円/US\$、メタノール：340US\$/MT

天然ガス系化学品



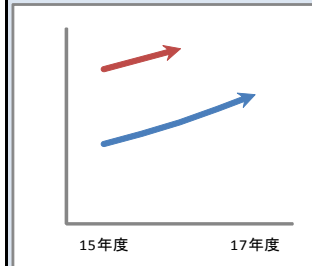
・メタノール市況が当初前提を大幅に下回る水準で推移しており、メタノール海外生産会社の持分法利益が低下。円高も重荷となり、中計策定時に比べ、事業環境は厳しい。

芳香族化学品



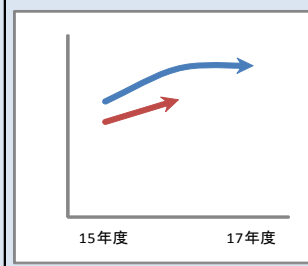
・事業構造改革を進め、収益は安定化。
・円高が逆風となるものの、MXDA、MXナイロン等の特殊化学品や発泡体（JSP）等、堅調に推移。

機能化学品



・円高やエレクトロニクスケミカル事業の競争激化等のマイナス要因があるものの、エンジニアリングプラスチックスの採算改善等もあり、計画を上回り推移。

特殊機能材

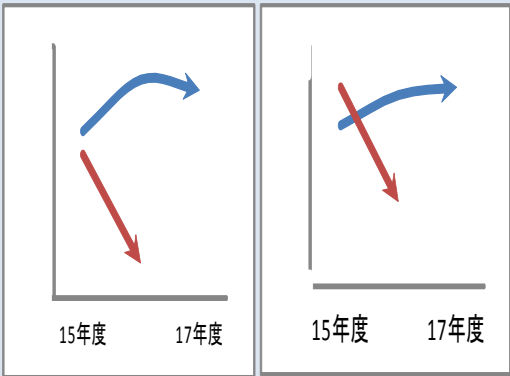


・円高の影響を受けるが、初年度に比べ電子材料の収益は改善。
・16年度より、新たに2社が持分法適用。

*2017年度中期経営計画(2015年5月公表) 最終年度（2017年度）の経常利益に対する進捗状況をイメージとして図示化

➡ : 中期経営計画 ➡ : 実績および見通し

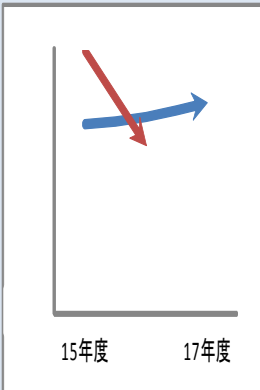
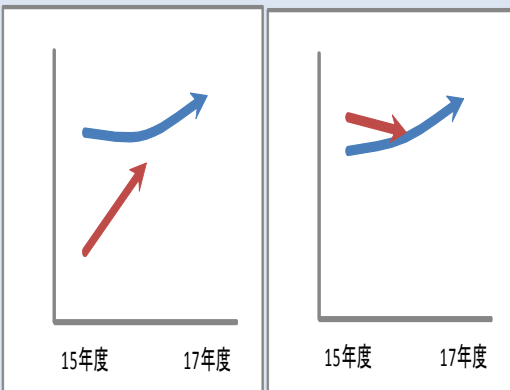
中期経営計画『MGC Advance2017』 中核事業の動向 (1)

	中期経営計画で掲げた事業戦略	中核事業の動向	中核事業 損益の動向(*)
天然ガス系化学品 メタノール 資源エネルギー	「基盤整備を行い、2021年ありたい姿に向けた準備を進める」 ・トリニダード・トバゴプロジェクトの推進 ・既存JV基盤強化 ・カナダLNGプロジェクトの推進 ・地熱発電事業の推進	・メタノール市況は当初前提を大幅に下回る水準で推移。(中計17年度：340\$/MT、16年度予想：235\$/MT) ・原油価格の下落により、資源エネルギーの損益は低下	 <p>メタノール 資源エネルギー</p>
芳香族化学品 MXDA/MXナイロン 発泡体 (JSP)	「構造改革を終え、中核・準中核事業の収益力を強化する」 ・塗料・食品包装材向けに拡販 ・グローバルな販売、製品開発体制を整備 ・独自技術に基づく高付加価値製品の販売 ・グローバル拠点拡大と基盤強化	・MXDA/MXナイロン：円高の影響を受けるものの、販売は堅調であり、概ね計画通りに進捗。 ・発泡体：概ね計画通りに進捗	 <p>MXDA/MXナイロン 発泡体</p>

*2017年度中期経営計画(2015年5月公表) 最終年度(2017年度)の経常利益に対する進捗状況をイメージとして図示化

➡ : 中期経営計画 ➡ : 実績および見通し

中期経営計画『MGC Advance2017』中核事業の動向（2）

	中期経営計画で掲げた事業戦略	中核事業の動向	中核事業 損益の動向(*)
機能化学品	「これまでの投資に対するリターンを確実に回収する」	・EL薬品：米国・台湾を中心とする競争環境の激化に加え円高も逆風となり、16年度は減益の見通し。 ・PC：PCシートフィルムは厳しい状況が続いているが、PCは原燃料価格の下落等により採算が改善し、計画を上回り推移。	 <p>15年度 17年度</p> <p>15年度 17年度</p> <p>過酸化水素/EL薬品 PC/シートフィルム</p>
過酸化水素/EL薬品	EL薬品：半導体市場拡大へ対応、既存顧客のシェア拡大と新規顧客の獲得		
ポリカーボネート/機能性シートフィルム	PC/機能性シートフィルム：高付加価値製品へシフト。海外子会社の利益安定化。		
特殊機能材	「既存市場から新規市場へ、販売地域・用途の拡大を狙う」	・BT系製品：15年度は顧客の在庫調整の影響を受けたが、16年度は回復。16年度より台豊サーキットが持分法適用。 ・エージレス：円高の影響あるものの、概ね計画通りに進捗。	 <p>15年度 17年度</p> <p>15年度 17年度</p> <p>BT系製品 エージレス</p>
BT系製品	・モバイル系先端半導体市場における新製品の上市/多用なニーズへの対応		
エージレス	・海外市場開発を加速/食品以外の医薬・工業分野での開発強化		

*2017年度中期経営計画(2015年5月公表) 最終年度(2017年度)の経常利益に対する進捗状況をイメージとして図示化

→ : 中期経営計画 → : 実績および見通し

参考：各種指標（1）

1.各種指標推移（連結）

【単位：億円】

年度	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016(予)
設備投資額 (うち2Q累計)	394 (160)	351 (193)	276 (141)	354 (146)	424 (224)	309 (177)	254 (138)	222 (103)	305 (149)	350 (137)
減価償却費 (うち2Q累計)	245 (110)	289 (135)	295 (137)	290 (138)	277 (134)	230 (107)	235 (114)	237 (115)	267 (131)	260 (122)
研究開発費 (うち2Q累計)	136 (66)	147 (67)	162 (74)	164 (74)	174 (88)	153 (72)	161 (80)	168 (80)	189 (92)	200 (96)
年度末人員(人)	4,686	4,902	4,920	4,979	5,216	5,323	5,445	8,254	8,176	7,985
一株当たり当期 純利益(円/株)	87	15	13	42	27	▲17	33	96	77	120*
総資産経常利益 率(%)	10.2	1.2	1.4	6.5	4.5	4.6	4.8	5.8	5.9	5.2
自己資本当期利 益率(%)	13.7	2.5	2.2	6.9	4.4	▲2.8	5.0	12.6	9.0	6.8
配当金(円/株) (うち2Q末)	16.0 (8.0)	16.0 (8.0)	8.0 (4.0)	8.0 (4.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	12.0 (6.0)	14.0 (7.0)	16.0 (8.0)	—* (8.0)

*当社は2016年10月1日に株式併合（2株→1株）を実施しております。株式併合を考慮しない場合の一株あたり当期純利益は60円/株、年間配当金予想は17円/株になります。

参考：各種指標（2）

2. セグメント別 設備投資額・減価償却費（連結）

【単位：億円】

年度		2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
設備投資額	天然ガス系化学品	56	107	71	140	139	63	45	57	53
	芳香族化学品	172	106	77	45	47	57	23	40	106
	機能化学品	74	91	81	148	216	150	112	76	99
	特殊機能材	92	47	45	18	18	33	66	43	38
	その他	0	0	1	3	1	3	5	3	7
減価償却費	天然ガス系化学品	54	64	75	86	77	62	63	69	61
	芳香族化学品	52	77	79	78	77	58	41	39	82
	機能化学品	96	97	86	80	84	77	95	92	88
	特殊機能材	42	51	51	42	35	27	31	33	30
	その他	0	0	4	4	3	3	3	3	3

参考：各種指標（3）

3. 業績前提

	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US\$/MT)	424	336	195	246	283	307	349	385	385	364
原料キシレン (US\$/MT)	1,200	600	770	870	830	1,050	1,260	1,280	1,190	1,320
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,800 ~2,000	800 ~1,500	1,000 ~1,300	1,200 ~1,700	1,800 ~2,100	2,100 ~2,500	2,000 ~2,500	1,400 ~1,800	1,500 ~1,800	1,600 ~2,000
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,450 ~2,850	1,900 ~2,450	1,900 ~2,400	2,400 ~2,900	2,450 ~2,950	2,400 ~2,900	2,800 ~3,000	2,600 ~2,900	2,500 ~2,800	2,500 ~2,800
為替(円/US\$)	106	95	96	90	89	82	80	78	79	87

	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		備考
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期 (実績)	下期 (予想)	
メタノール (US\$/MT)	375	449	432	358	301	230	230	240	アジアスポット平均 価格
原料キシレン (US\$/MT)	1,230	1,160	1,100	730	740	630	660	630	スポット価格 (FOB-Korea)
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,550 ~1,800	1,550 ~1,700	1,600 ~2,000	1,200 ~1,900	950 ~1,500	850 ~1,100	1,000 ~1,200	1,100 ~1,400	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,400 ~2,600	2,400 ~2,600	2,500 ~2,700	2,300 ~2,700	2,100 ~2,650	2,000 ~2,400	2,200 ~2,500	1,950 ~2,450	
為替(円/US\$)	99	102	103	117	122	118	105	100	

※メタノールについては、2014年度まで、上期は1-6月、下期は7-12月の価格を表記しております。

2015年度および2016年度は、上期は4-9月、下期は10-3月の価格を表記しております。

お問い合わせ先

三菱ガス化学株式会社

広報 I R 部

TEL 03-3283-5041

<http://www.mgc.co.jp/>

〈見通しに関する注意事項〉

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。